

中央区協働推進会議（平成22年度第5回）議事要旨

1. 日時

平成23年2月14日（月）10:00～11:30

2. 場所

中央区役所別館8階会議室

3. 出席者

【委員】

瀧澤利行（会長）、山岸秀雄（副会長）、関口利子、安嶋潔、
豊田正文、斎藤裕文、齋藤弘

【事務局】

地域振興課長、協働推進主査

（主な議題）

1. 平成22年度採択事業の進捗状況について
 2. 協働提案事業協定書について
 3. 平成23年度協働事業提案スケジュール案について
-

〔議事の経過〕

- 1 事務局から平成22年度採択事業の進捗状況について報告があった。
- 2 事務局から「協働提案事業協定書（案）」についての概要説明があり、その後、意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおりである。
 - 事業において収入が発生する場合、その収入の帰属について協定書内で明確にしておかなければならない。
 - 協定書の中に詳細を記載してしまうよりも、汎用性を持たせて、第三者機関が決定できるようにしておいた方が運用しやすいのではないかと考える。
 - 協定書の中に契約書に書くべき事項が含まれているので整理が必要である。以上の意見を踏まえ、「協働提案事業協定書（案）」を再度作成し、提示することとなった。
- 2 事務局から平成23年度の「協働事業提案スケジュール（案）」の説明がされた。

主なスケジュールは以下のとおり

 - 平成22年度協働事業実施（6月頃）
 - 平成23年度協働事業提案公募（6～7月頃）
 - 平成22年度協働事業の評価方法の検討
 - 平成23年度協働事業公開プレゼン、採択審査（8～9月頃）
 - 平成22年度協働事業中間評価（9月頃）
 - 平成22年度協働事業報告会の実施
 - 平成22年度協働事業最終評価
- 3 すべての議事終了後、平成22年度協働事業に関する意見交換が行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○協働事業公募の際に、予算目安を提示して募集を行った方が良いのではないかと考える。

○平成22年度は結果的に教育分野に偏ったが、今後は事業の内容的な広がりを追求したい。そのためにはまず、多くの提案を出してもらいたい。事業枠組みや、進め方について3、4年後には様々なオプションがあってもよいのではないかと考える。